

民報あばしり

NO. 920

2013.5.26

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
五四三・四四五八
F 四三・四四五七

開発局と総合振興局交渉

5日本共産党北見地区議員団は22日、開発局とオホーツク総合振興局と交渉を行いました。

この日、参加したのはオホーツク管内の日本共産党の議員7名です。

網走市からは飯田・松浦両議員、紋別市から野村議員、北見市から菊池・熊谷両議員、美幌町大江議員、斜里町宮内議員、雄武町福原議員が交渉に参加しました。

午前11時から開発局と国道に関連する崩落防止対策や交通安全対策、土地改良事業の早期着工など住民の安全対策を求めました。

午後3時半からは、オホーツク総合振興局と交渉し、96項目を事前に提出し回答をもらい、その中から35項目について再質問しました。前段で質問項目を議員団で協議して、それぞれ分担して交渉を行いました。飯田・松浦両議員も津波浸水予測図の作成や流水津波対策、消防広域化問題、サハリン沖油田開発等原油流出



網走開発建設部との交渉



オホーツク総合振興局との交渉

事故対策、泊原発の再稼働反対・自然エネルギー推進など網走の地域の問題や課題について質問しました。交渉する時間も少なく納得できる回答は、あまりありませんでしたが、それらについては、6月5日、6日に行う北海道との交渉に持ち込んで、住民要求をさらに追求し、改善を求めることにしています。

各後援会の 焼き肉と花見会のお知らせ

西後援会

5月26日(日) 11時～
天都山・丸善会館 会費1000円
24日まで下記へ申し込み
大西45-3597 神田45-2915

松浦・PG/カップ

5月26日(日) 13時30分
呼人パーク場
参加費 500円

南後援会花見

6月8日(土) 11時30分～
駒場南4 松浦事務所前庭
会費 1000円



松浦奮戦メモ

先週の土曜日と日曜日、大雪に痛めつけられた掲示板の修理と痛みがひどい箇所は交換し、新しいポスターを張り出す作業をしました。

農村地域をまわっていると農家の方に会いました。農作業が遅れて大変ですとあいつしなから尋ねると、「とにかく天気が続かないと畑に入ることができないから、どうしようもない」と、困りきっていました。

確かに、山里地域で暗渠作業をしていましたが、機械が畑にぬかるんで作業が大変なようでした。とにかく4月の下旬以降は雪と雨ばかり降っていて、2日と天気が続いたことがありません。

90歳を過ぎたお年寄りに聞いても、こんな年は経験したことがないとのことですから私の60年の経験では記憶にあるはずがありません。

今日(22日)は昼間は晴れていましたが、夕方には雨が降っています。異常な春です。

いっせ東奔西走

寒さと雨天が続いたオホーツク海沿岸に、ようやく本来の天気が戻ってきました。畑作業が大幅に遅れていた農家の方は、朝早くから夜遅くまで畑おこしに懸命です。まだ土が乾かず作業は順調だとは言えず作付けはまだまだ油断できないようです。

この時期は網走の桜の開花時期ですが、天都山の桜祭りをはじめ各町内会の花見は主役無しに行われまじ。遅いとはいえ早く満開の桜を見たいものです。遅くなったといえ、私夫婦の朝散歩が開始しました。

ストックをもったノルディックウオーキングです。定番の西山通りを基本にさまざまな道を組み合わせたコースで朝の新鮮なオゾンを含んだ空気を思いきり吸って体をいたわっています。

散歩で体力をつくり、雪がとけ雑草が伸びはじめた畑をおこし、種を蒔いて新鮮な自家製野菜をつくりたい。それを食べて体力維持し新鮮で活力ある議員活動をめざします。

流水

3・14大震災で「原発は安全」の神話に支えられた原発技術が全くの誤りであったことが明らかになり、原発即時廃棄の声が強くなってきた。

拡がってききました。又、福島原発で放射性廃棄物の汚染水の処理が限界に達し、深刻な問題として浮かび上がり、安全、安全と言ってきた原発技術が実は未完成の危険なものであることが、更に広く知られるようになってきました。何よりも使用済み燃料中の半減期数万年という放射性廃棄物の安全な処理は現在のいかなる科学技術でも全くの解決が不可能です。又、こうした要因に人的な要因が加わって、安全検査をサボタージユしていた「もんじゅ」の運転再開中止指示、さらに敦賀2号機直下に活断層存在が明らかになり、廃炉の方向が濃厚になるなど、原発のもつ危険性がますます明らかになってきました。こうした中で何としてもより一層の「異常」を感じるには安倍首相の中東歴訪による原発のセールのスであり、7月には原発の新規制をテコに、原発の再稼働をたくらんでいる財界。原子力関連業界のこれまでの「事故時に原発敷地内で100ミリのシールド以下にする」規制さえ無くしての原発再稼働です。どうですか！自公政権の原子力政策のひどさは、今こそ日本のそして世界の未来のためにも脱原発は急がれます！(K)